

保育計画成果報告書

法人名等	株式会社コドモノイルクラシ
施設名	とろく保育舎ぴーかーぶー
報告者（役職）	桑本知明（代表取締役）
住所・連絡先	熊本県熊本市中央区渡鹿 7-8-5 3 豊ビル 102
	☎ 096-245-6331 E-mail kuwamoto.tomoaki@gmail.com

○タイトル（保育計画）

みんなで快適！お昼寝タイム！
（午睡用ベッド導入によるお昼寝環境の改善）

○主な助成備品

午睡用ベッド スペースライン（幼児用 138cm）× 5 台
午睡用ベッド スペースライン（乳児用 107cm）× 14 台 計 19 台

1. 保育計画策定の目的

今回の計画では、毎日の園生活の中でも、大切にしたい「午睡の時間」を、より充実したものにするとともに、保護者様そして保育士の作業負担も同時に軽減することを目的としました。

（計画の目的）

- ① こどもの午睡時環境の改善
 - 衛生環境の改善（高さのあるベッドによるホコリ、ダニのまいくい環境）
 - 温度環境の改善（ベッドと床の間の空間が適度な温度湿度を実現）
 - 園児毎の区切による環境改善（ベッドの区切り毎に個人空間を確保）
- ② 保護者負担の軽減（毎週の「お布団持ち帰り」簡便化）
- ③ 保育士の作業負担軽減（園児ごとの布団管理と上げ下ろし作業を簡便化）
- ④ 限られた保育スペースの有効活用（布団の収納スペースを小さくする）

2. 具体的な実施内容

上記午睡用ベッドの購入後、午睡用ベッドによる午睡を実施するとともに、下表のとおり業務変更を実施しました。

(午睡用ベッド導入に伴う作業変更)

内容	導入前	導入後
保護者の布団持ち帰りを簡便化	毎週末に敷き布団も含めた「布団セット一式」をお返しし、洗濯や天日干しをお願い。	毎週末に掛け布団とシーツをお返しし、洗濯をお願い。
布団敷き作業変更	個別の布団セット毎に、敷き布団、掛け布団をセット	まずは午睡ベッドを配置してから、個別のシーツと掛け布団をセット
布団片付け作業変更	個別の布団セット毎にたたみ、個別に保管	シーツと掛け布団のみ個別に畳んだ後、ベッドはまとめて重ねて保管

(コットにシーツセット)



(午睡前)



(午睡中)



(午睡中)



(片付け)



(重ねたベッド)



3. その成果と評価

午睡ベッド導入による成果を下表とおり、計画時に狙った成果毎にまとめてみました。
(成果と評価)

狙った成果	評価	保育士・保護者からの声
子ども達の睡眠環境改善	○	○ 一人一人の場所がきちんと確保 ○ 通気性がよく汗をかきにくい ○ 高さがあり冬も保温性がある ○ 布団より硬く、顔が埋まりにくい × 寝返りの際、周囲で頭を打ちやすい
保護者の負担軽減	◎	○ 登降園の際、持ち物が少なくて済む
保育士の作業負担軽減	△	○ 布団セットの個別管理の手間が減った ○ 失禁時の掃除がしやすい × 布団より重たく、出し入れしにくい
スペースの有効活用	×	× サイズ違いが重ねられず、収納場所が多く必要

このとおり、子ども達の環境改善や保護者負担の軽減には大きく寄与し、改善されたことに関しては大変満足いく結果となりました。しかし、当初見込んだ、スペース活用や保育士作業負担の軽減には課題の残るところだと認識しております。

4. 今後の課題と展望

(収納の工夫が必要)

収納スペースが縮小されなかったことについては、サイズ違いのベッドが重ねられない為高さを利用した収納ができないことが大きな要因だと思われます。また、布団より重たいベッドを個々に床から並べて行く作業も保育士の新たな作業負担となってしまいました。

そうした要因を改善するために、高さを生かした省スペース収納を行いながらも、出し入れが容易なキャスター付きの収納棚の設置を検討します。

(更なる保護者負担の簡便化も検討可能)

また、今回の試みで、大きな布団の持ち運びが保護者にとって相当な負担になっていたことも明らかになりました。今後とも更なる保護者の負担改善を目指して、シーツや掛け布団の洗濯や提供等も引き続き検討していきます。

(同グループ園への展開)

今回、有効性が確認できた午睡用コットは、昨年4月に開園した「かごまち保育舎ぴーかーぶー」でも導入しました。布団の荷物が少ないことは、特に自動車での通勤が困難な中心市街地にご勤務の保護者様から好評を得ております。今後、収納の問題を解決しつつ、他の園にも導入していきたいと考えております。